

平成21年9月28日

21年度役員 19名 各位

ⓧ事務局・活動局・監査委員 18名

逆瀬台小学校区まちづくり協議会  
「ゆずり葉コミュニティ」  
会長 中村 一雄  
TEL 72-5644

逆瀬台小学校区まちづくり協議会「ゆずり葉コミュニティ」

10月度役員会開催のお知らせ（ご案内）

ご多忙のところ、万障繰合わせの上ご出席の程、よろしく申し上げます。

日 時：平成21年10月4日（日） 10：00～12：00

場 所：逆瀬台小学校内 「ゆずり葉コミュニティルーム」

≪ 議 題 ≫

報 告

- (1) 8/31(月)「地域創造会議の提案事項」について市長に申入れ (事務局長)
  - ★ 地域テーマ「拠点施設の有効活用に伴う諸方策」  
7/16 教育長から回答 7/28 兵庫県庁へ調査 8/25 兵庫県警現地踏査  
8/31 3役と中川市長・市民協働推進課へ申入れ  
9/16 3役と逆小校長&PTA役員に説明
  - ★ 資料 1/14頁 「駐車スペースの確保」＝黄地役員  
2/14頁 兵庫県教育委員会「余裕教室活用ガイドライン」
- (2) 9/4(金)「高齢者福祉のボランティア活動」の座談会について (会長)
  - ★ 資料 3～6/14頁 「移動手段」の具体化
- (3) 9/24(木)「第1回まちづくりフォーラム実行委員会」について (黄地役員)
  - ★ H22-2/28(日)宝塚市立東公民館で開催。「一言メッセージ」を12月市広報で募集
  - ★ 資料 7/14頁 「提案(構想)について」
- (4)「ゆずり葉まつり」「運動会(ボール運びリレー)」について (事務局長)
  - ★ フリーマーケットが中心。「エコキャップ運動」に参加
- (5) 11/29(日)「平成21年度マンションの自治会連合会加入促進説明会」 (会長)
- (6) 地域活動団体の発表の場「パネル展示会」について (会長)
  - ★ 10/29(木)/30(金)光中総合文化発表会「ゆずりは文化教室(絵画教室)」
  - ★ 阪神北県民局「地域見本市」⇒「阪神北地域ビジョン委員会シンボルプロジェクト」
  - ★ 11/22(日)兵庫県「地域コミュニティ・アワード2009」各県民局から2地域指定  
≪ゆずり葉コミュニティ(テーマ・自然豊かな裏山の緑の創出事業 ～コンセプト  
①景観・環境づくり ②やすらぎ・健康づくり ③防災・サロンの広場づくり～  
④生物多様性)≫、≪伊丹市の団体≫
- (7)「育成会同伴下校のボランティア参加」について (活動局長)
  - ★ 資料 8/14頁 「逆瀬台小学校区見回りグループ」

議 案

- (1) 活動事業助成金の配賦について(県民交流広場事業) (活動局長)
  - ★ 9/6(日)申請締切：「逆瀬川パークマンション子供会」15,000円  
「比翼の会」20,000円 資料 9～12/14頁

\*\* その他事項について

- ★ 「平成21年度8月度役員会」議事録 資料13～14/14頁

以 上

中村さま

## 「駐車スペースの確保」

何時もお世話になります。

本日の議案にありました掲題の件について黄地所見（本日の発言のまとめ）を、忘れぬうちに記述させていただきます。

### ＜前提条件＞

- (1) 各々の条令・法案には、それを定める「目的」「理念」が先ずあり、その「目的」「理念」を実現するために必要な条文が記述されている、と考えております。
- (2) 当該場所（道路）を道路から学校敷地に用途を変更するとの提案は、掲題の要望を実現するための方法の一つとして、タウンミーティングの場で「阪上（前）市長＝行政の長」から初めて提案されたのであり、地域住民はこの方法に固執しているわけでは無い、と考えております。

### ＜発言骨子＞

- (A) 今回の回答書は「行政が自ら提案したことについて自ら否定した？」ものに過ぎず（何故か実現するための手法のみ否定した！）本来の住民の要望である「駐車スペースの確保」への回答として、まったく「的外れ」と考えております。

理由は「道路を学校敷地に用途変更する要望を市長に行った」のではなく「公共の用に供する施設（学校/デイケアセンター/コミュニティセンター）の立地条件が悪く、高齢化率も高く、車輛を使用をせざるを得ない場合が多いため、「駐車スペースの確保」を要望したのです。

- (B) 回答書の内容についても、制定の目的・理念を忘れ、単に条文を棒読みしたに過ぎないもの、と思えてなりません。いわゆる「区画調整区域の指定解除」についてさえ、公共の用に供する施設を設ける場合には、指定解除に道が開かれております。

住民が要望している「駐車スペース」は正に「公共の用に供する」ものと考えており、個人の用に供するものと同じ基準で判断/裁量を行うべきでは無い、と考えております。

- (C) （従って）答弁及び回答が教育長からなされたこと自体、甚だ疑問です。

彼の立場では県条例を持ちだすことが当然なのでしょうが、既に多くの権限が県から市へ委譲されている現状を考えると、違和感を覚えます。ただし教育行政については「県が多くを占めている」と聞いております。万一「市長＝行政の長」が地域に適合した適切な運用/裁量を行えないとすれば、宝塚市民にとって大変不幸なことと考えております。

とりあえず、乱文で申し訳ありませんがお送りさせていただきます。三役会、で  
ご検討頂ければと存じます。

光ガ丘 黄地

### Ⅲ 余裕教室の活用方向

余裕教室の活用にあたっては、学校がもっている次のような特性を踏まえ、効率的・効果的な活用方策を検討する必要がある。

- ① 学校は、地域の中心的な位置にあり、地域住民が歩いていける距離にあること
- ② 地域住民に幅広くなじみがあり、足を向けやすい施設であること
- ③ 地域住民の学習やスポーツなどの活動を支援する機能を備えていること
- ④ まとまった面積の土地があり、様々な活動に使いやすいこと など

#### 1 活用の基本的な視点

##### (1) 学校施設の高機能化・多機能化の推進

- ・ 「総合的な学習の時間」の導入や選択履修幅の拡大、少人数教育や心の教育の推進などによって、今後、学習形態や学習集団が多様なものになっていくことが予想されることから、従来のような学級を単位としたサイズの教室だけではなく、少グループや複数学級、異学年の交流ができるような様々なタイプの教室や学習スペースが必要であると考えられる。
- ・ また、情報教育や課題解決・体験的な学習の一層の推進等を勧案すると、より多様な、高度な教育機能の整備が望まれる。

##### (2) 学校・家庭・地域の連携・協力の拠点づくり

- ・ これまで、学校は、子どもの教育のための聖域と見なされ、社会から閉ざされた存在となりがちであったが、これからは、学校と地域社会が連携・協力して、子どもたちが日常的に地域住民とふれあい、交流し、豊かな人間性を涵養できる場を、学校の中に創っていくことが重要である。
- ・ このためには、保護者や地域住民が様々な活動を通じて気軽に学校に来ることができるようになることが大切である。
- ・ 10年度から実施している「トライやる・ウィーク」で培った学校と地域社会との連携の成果を土台として、地域の優れた人材や生活文化、産業、風俗、環境などの諸資源を学校の中に取り込んでいく視点が重要である。

##### (3) 社会資本としての有効活用

- ・ 経済が右肩上がりの成長社会から経済・社会が安定した成熟社会へとシフトしていることなどを踏まえると、これまでに蓄積された社会資本を有効に活用して住民ニーズに対応する考え方が重要である。
- こうした観点から、余裕教室を社会資本の一つとして、最大限に活用していくことが望まれる。

“こころ豊かな兵庫”を  
めざして

余裕教室活用ガイドライン  
発行 平成12年3月  
兵庫県教育委員会

校区高齢化率が宝塚市内で断トツの 35%  
『高齢者福祉のボランティア活動を如何にするか』について語る

(10月1日付「ゆずり葉だより」秋号1面～2面掲載)

参加者：井篁、千秋、田麦、白井、徳高、株本、戸田、常岡、山岡、友田、岡原、大迫、川上、  
國司、中村、結城(記録)、(16人)

日 時：平成 21 年 9 月 4 日(金)午後 1 時 30 分～ 場所：ゆずり葉コミュニティ事務局

\*\*\* 参考資料 \*\*\*

- (1) 第 5 次宝塚市総合計画(平成 23 年度を初年度)への提案
  - ① 元気な高齢者 ⇒ 奉仕活動の場を提供する。例：公園環境保全活動報償金交付制度、協働のまちづくり公募補助金制度等の充実(有償ボランティア制度の採用)。
  - ② 独居・病弱な高齢者 ⇒ 防犯・防災の見守り体制、連絡体制を一層強化。
- (2) 「地域ごとのまちづくり計画」の策定(平成 15 年度に提案)
  - ★ 自然を活かした健康長寿のまちづくり  
高齢者が何時までも健康で、介護の要らない暮らし(ピンピンコロリ・PPK運動)。
- (3) スウェーデン方式の高齢者福祉
  - ★ 高齢者向きの公園再開発(ゲートボール・東屋)、日常生活の相談・安心及び行き倒れ緊急時のネットワーク、食料品備蓄倉庫。
- (4) 「逆瀬台地区センター」：宝塚市社会福祉協議会  
第 2 ブロックの地域福祉活動拠点として担当職員を配置し開設。  
地域福祉活動拠点の場をつくり福祉課題を抱えている人々の「相談」「広報・情報発信」「ネットワークづくり」「研修・教育」「人材育成」などの機能を持って、いつまでも住み慣れたまちで、自分らしくいきいきと暮らしていけるような①コミュニティや小地域での福祉活動を支援します！②地域福祉課題を解決するために“話し合いのテーブルづくり”や“協働活動の立上げ”を支援します！③地域福祉活動に取り組む上で必要とされている、日常生活圏域における“場づくり”を進めます！
- (5) 「逆瀬川地域包括支援センター」：宝塚市委託事業：聖隷福祉事業団
  - ★ 介護予防や地域の総合的な相談の拠点。自宅訪問可能。
  - ★ 保健師等①、社会福祉士②③、主任ケアマネジャー④、の専門職が連携して支援。
    - ①「介護予防ケアマネジメント」 ②「総合相談・支援」
    - ③「権利擁護、虐待早期発見・防止」 ④「地域のケアマネジャーなどの支援」。
- (6) 高齢者向けの居住施設
  - ① 養護老人ホーム(心身機能が衰え居宅での生活が困難で住民税非課税)、② 軽費老人ホーム(60歳以上の家庭環境・住宅事情)、③ ケアハウス(60歳以上自分の身の回りができ、ひとり暮らし(高齢者夫婦含む))、④ 有料老人ホーム(介護付有料老人ホーム、

住宅型有料老人ホーム、健康型有料老人ホーム)。

(7) 施設(健康・介護予防)サービス

★ 社会福祉協議会：① ミニディサービス(地域の人を中心となり体操、レクリエーション、趣味の活動「介護予防の場」を開催)。② ふれあいいいきサロン(地域が中心となり、茶話会、手芸、健康や介護予防教室など仲間づくりやふれあい活動)。

③ 小規模多機能型ケア(宅老所開設)

★ 宝塚市通所型介護予防事業：はつらつ高齢者の会(生活機能の低下を予防するため、身体活動量の維持・増加、栄養改善・口腔機能向上等を目指す介護予防教室。運動1,000円・口腔400円・栄養400円)。

(8) 家庭で介護している場合のサービス：① おむつ給付。② 在宅高齢者介護手当て(要介護4・5の高齢者を在宅介護し市民税非課税世帯)。③ 徘徊高齢者家族支援サービス事業(認知症高齢者が徘徊した時、早期発見装置により居場所を家族に伝える)。④ リフト付きタクシー料金助成(要介護4・5で外出困難な在宅高齢者)。⑤ 福祉タクシー料金助成(要介護4・5で外出困難な在宅高齢者)。⑥ 訪問理美容サービス(要介護4・5で理美容に出向くのが困難な在宅高齢者)。⑦ ねたきり高齢者マッサージサービス(居宅でのマッサージサービスを月1回提供)。

(9) 安心して生活を送るためのサービス

★ 社会福祉協議会：① 独居高齢者等緊急通報システム(常時見守りが必要な独居高齢者が、近隣で福祉協力員3名を指名し緊急装置を用い受信センターに通報)。

② 福祉電話(民生児童委員が独居高齢者に1～2回/週電話をかけ安否確認)。

★ 地域包括支援センター：① 生活援助等サービス(ホームヘルプサービス)(ホームヘルパーが家庭訪問して買物、掃除、調理等行う。65歳以上の高齢者世帯で市民税非課税世帯、自己負担440円/H)。② 配食サービス(昼食を自宅は配達・安否確認。安否確認の必要な65歳以上の高齢者世帯。540円/1食)。③ 高齢者日常生活用具の給付(電磁調理器または自動消火器の給付。独居高齢者及び高齢者のみの世帯で心身機能の低下により、防火等の配慮が必要な人)。④ 住宅改造資金助成事業(60歳以上の高齢者のいる世帯で既存住宅の改造・増改築に伴う費用の助成)。

★ 介護ファミリーサポートセンター：65歳以上の高齢者等がセンターに会員登録をして日常生活の支援を受ける。

★ NPO法人宝塚成年後見センター：成年後見制度

(10) 地域福祉活動拠点の整備

自治会館、マンション管理組合集会所(室)、デイセンター交流広場、ゆずり葉コミュニティルームなど：気楽に集える場づくり、ふれあい交流、相談窓口、福祉学習会、世代間交流。

(11) 介護保険制度：

宝塚市(保険者) ← 委託 = 地域包括支援センター → 40歳以上のわたしたち(被保険者) ← サービス事業者(社会福祉法人、医療法人、民間企業、NPOなど) ←

- (12) 安心生活創造事業 健康福祉部 健康長寿推進室 いきがい福祉課 委託事業＝社協  
要援護ひとりぐらし世帯の見守り支援の基礎づくり。  
定期訪問 例：買物の注文表の記入、外出の付き添い、料金＝@ 5 0 0 円／H
- (13) 生活・介護支援サポーター養成事業：地域助け合い活動の基礎的知識研修  
研修終了後⇒安心生活創造事業の訪問員 宝塚市・委託事業＝社協
- (14) 災害時要援護者支援制度 都市安全部 危機管理室 安全安心課  
高齢者・障害者を災害から守るための支援制度：5 箇所自治会のモデル地区事業(千種、向月町、鶴の荘、武田尾、山本台) 災害時の緊急事態において、安全な避難等を支援する制度  
調査票：支援を要望する⇒自治会、民生委員に情報提供を同意。  
★ 平素の見守り・声かけや安否確認、避難の手助け。
- (15) 自治会・地域高齢者見守りネットワーク支援事業：宝塚市社会福祉協議会  
・自治会が主体となり、日常的な見守り活動の創設とステップアップ。  
・災害時の要援護者の救援活動。安否確認・避難誘導支援体制づくり。  
・【例】要援護者リストアップ、高齢者マップ、ゴミ出し、買物代行、通院補助、  
屋内清掃、巡回訪問、隣保共同の精神。
- (16) 逆瀬台自治会 <<福祉部>>  
いきいきサロン、ふれあい活動、男声・女声コーラス、その他各種の集い多数。
- (17) 光ガ丘福祉活動委員会：平成21年度総会＝20周年  
いきいきサロン、ふれあい活動、健康体操、敬老のお祝い、その他各種の集い多数。
- (18) 民生児童委員 校区内：13名  
民生委員法：昭和23年施行 改定＝社会福祉の増進⇒プライバシー問題
- (19) NPO活動として「社会的な使命の達成を目的に、市民が連携し、自発的かつ非営利で行う社会的、公益的活動」：活動の分野は17種類に分類され第1号の保健・医療又は福祉の増進を図る活動に該当。高齢者・障害者支援、医療に関する普及・啓発活動。  
★ NPO法人きらり「支えあい・助け合い」に基づいた社会貢献ボランティア活動。  
事業：障害者自立支援法や介護保険法に基づく事業の他、生活支援サービス事業。
- (20) 健康や生きがいづくり：スポーツクラブ21ゆずり葉  
★ 地域社会の一員として心豊かに暮らし続けるためスポーツを通じて地域の仲間づくりを推進。スポーツ(卓球)・歩いて(ハイキング)・歌って(カラオケ)で健康づくり。
- (21) 高齢者福祉活動には、『協働の場づくり』と『福祉情報』の受発信活性化が大事＝インターネットの有効活用(ホームページ、掲示板、ブログ)、広報紙掲載。

# 移動・送迎 いたします。

認可番号

「おでかけしたい。でも…」

- ・通院・リハビリに行きたいけど…往復料金が…
- ・バスは安いけど、…時間がかかる…

そんな時、移動・送迎サービスをご利用ください！

## ＜運行日時と予約受付時間＞

- ・利用可能時間帯 9時～17時  
(相談に応じます)

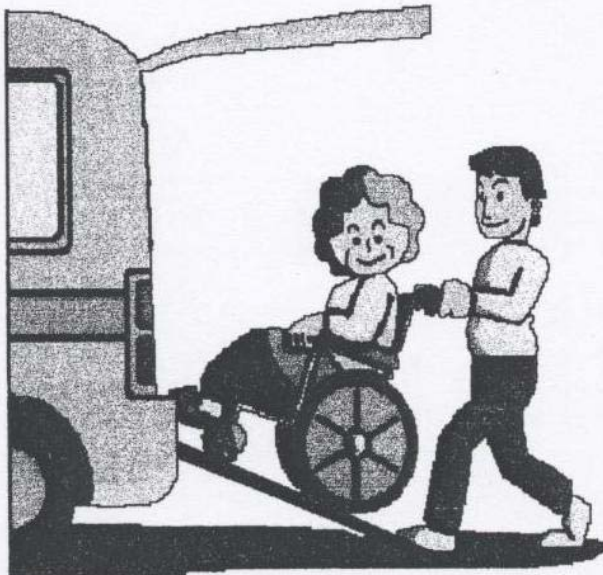
- ・予約受付時間 10時～16時  
(平日 月～金)

## ＜運休日＞

- ・土日祝日
- ・年末年始(12/29～1/3)

## ＜料金＞ ※年向登録料 1000円

- ・2キロまで300円。  
それ以後、1キロごとに130円増し



## 対象者

- ①要支援、要介護の認定を受けておられる方。
- ②身障者(療育)手帳の交付を受けておられる方。
- ③身体不自由、内部障害、その他の障害により、  
単独では公共交通機関を利用することが困難な方。
- ④その他運営協議会において必要と認められた方。

【問い合わせ先】

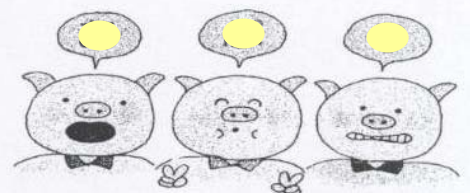
**NPO法人**

TEL : 0797

FAX : 0797

〒665-0823

宝塚市



## 役員会資料

平成21年9月26日  
ゆずり葉コミュニティ  
会長 中村 一雄

### 平成21年9月24日(木)、開催の第1回フォーラム実行委員会での提案について

《平成20年度表示》 主催：宝塚市自治会連合会、宝塚市内20のまちづくり協議会、(特)宝塚NPOセンター、宝塚市

#### \*\*\* 記 \*\*\*

まちづくりフォーラム実行委員会の構成メンバーが、まち協20名に対し自治会連合会5名で、実りあるフォーラムの企画・運営を行うという中村委員の疑義提示に対し、事務局(市民協働推進課)から「それは自治会連合会の内部の問題です」との発言があり、事務局も出席していた「神戸市円卓会議」を敢て引き合いに出させて頂きました。私(黄地委員)は、どちらか一方の問題ではなく其々がバラバラに内部で検討・協議では双方の共通認識を得られない、と考えていることを伝えたくて、下記の提案を事務局に行いました。

#### — 提案(構想)について —

フォーラムのみならず「自治会：連合会」と「まち協」の間で、其々の「立場・役割・関係」について「検討委員会」(合計20名以内)で議論を行い「答申書：たたき台」を作成し、双方に提案を行い其々の意見をまとめて頂く。もし、両者の意見に乖離があれば、再度「検討委員会」が協議を行い再度「答申書」を作成し、双方に提案を行い其々の意見をまとめて頂く。必要に応じこのプロセスを繰り返し、最終答申書として「自治会(連合会)とまちづくり協議会の役割」をまとめ両団体の共通認識(規範)としたい。「検討委員会」の構成メンバーは其々の団体の推挙があれば、必ずしも会長・役員にこだわらない。という提案を事務局に行いました。

以 上

逆瀬台小学校区まちづくり協議会  
会長 中村 一雄 様

逆瀬台小学校区見回りグループ  
参加者 一同

### 申し入れ書

私たちのボランティアグループの活動について、今後の見通しに現実性が見られず苦慮しているところです。

貴協議会を通して、私たちのボランティアグループへの参加を呼びかけたく、貴協議会内の一グループとして登録させてください。

現状での問題点を述べますので、ご配慮賜りますようお願いいたします。

#### 1. 現状

- ① 活動参加者数 5名
- ② 活動時間 16:30~17:30  
(冬場は16:00~17:00)
- ③ 自宅近くまで送り届けている児童の人数 逆瀬台1・2・3・6丁目方面 約20名  
(主に育成会参加児童) 逆瀬台4・5丁目方面 約6名  
青葉台・光が丘方面 約12名
- ④ 活動日 1年間ほぼ毎日  
土曜日・日曜日・祝日・年末年始休暇日を除く。  
春・夏・冬の長期休み期間の日も活動しています。  
学校行事による代休日も活動しています。

#### 2. 問題点

- ① 活動参加者が高齢者層に近く、いつ病気で参加できなくなるか知れないという不安がつきまっています。事実、今までに2名の方が病気で参加されなくなりました。  
参加者が減ると、十分に安全に児童を送り届け得ない事態の発生が心配です。
- ② 今の活動実態は、参加者が少なくきめ細かく出来ていない不満があります。  
実態の一つ(曜日毎の活動参加状況)

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
4名	4名	4名	4名	3名


  
従いまして、どうしても参加できない事情で活動できない人があると育成会の先生に補充してもらっています。
- ③ こうした時間帯に私たちがパトロールしているにもかかわらず、時々変質者が現れたりします。もし、参加人数の減少により活動が中止になるとしたら、今の社会実態から見て、大変危険な事態になります。ぜひ、現在活動している私たちより若い人たちを含めて、ご参加いただき活動が長く続きますよう強く願うところです。

以上

平成 年度県民交流広場事業・福祉コミュニティ支援事業  
活動事業実施計画書兼活動助成金交付申込書

逆瀬台小学校区まちづくり協議会会長様

申込 平成 21 年 8 月 30 日

団体代表者	(団体名) 逆瀬川パークマンション 管理組合(代表者職氏名) 会長 内富登紀子 
団体又は代表者の住所	〒665-0024 宝塚市 逆瀬台 2-7-30-1210 TEL&FAX 0797-72-4866

活動の名称	逆瀬川パークマンション 子供会
活動の目的	学年を越えて、子供達の親睦を深める。また、保護者同志のコミュニケーションを持つことで情報と共有し、子供達を見守る環境を作る。
活動の内容	<平成21年度> 7月 うどん打ち体験 11月 キッズ3甲子園見学 3月 6年生 お別れ会
参加予定数	約 16 人
実施予定日	平成 年 月 日 ・うどん打ち体験 7月23日 実施済 ・キッズ3甲子園 11月16日 予定 ・6年生お別れ会 3月下旬 予定
総活動経費	69,600 円
助成希望額	30,000 円

PRの方法	案内チラシ等が有れば添付してください。
-------	---------------------

- \* 1. この助成金は、飲食費には使用できません。
- \* 2. 活動実施完了後、速やかに別紙報告書を提出してください。なお、活動の写真等添付してください。

## 宝塚自然の家～うどん打ち&クラフト体験～

いつも子ども会の運営にご協力を頂き、ありがとうございます。  
標記の件につきまして、以下の通り企画いたしました。参加を希望される方は  
下記申込書をご提出ください。

### 記

□日時：平成 21 年 7 月 23 日（木） 9 時 30 分～12 時頃まで

□集合時間：8 時 40 分 パークマンション前公園 時間厳守

□持ち物：水筒（飲み物は準備していますが、足りない人は持ってきて下さい）  
帽子、ハンカチ、ティッシュ

□予定：

9：30～ うどん打ち体験（生地をのばす、切る）

10：30～ クラフト（水鉄砲作り）

11：00～ フィールドアスレチック 少しでも（雨天中止）

12：00～ パークマンションへ

※打ったうどんは、お土産として持ち帰ります。

※爪を短く切ってきてきましょう。

※大人の方で、うどん打ち体験を希望される方は下記にご記入の上、実費  
500 円を添えてお申し込みください。

※申込みは、7月10日（金）締切 1210号室 内富まで。

締め切り厳守でお願いいたします。

きりとり

パークマンション子ども会 《うどん打ち 申込書》

部屋番号 \_\_\_\_\_ お名前 \_\_\_\_\_

※丸で囲んでください。

○参加します

◇子供 名前（ \_\_\_\_\_ ）（ \_\_\_\_\_ ）

◇大人 名前（ \_\_\_\_\_ ）

⇒ うどん打ち （ 体験する ・ 体験しない ）


⇒ 車、出せます （ はい ・ いいえ ）

●参加できません

# 平成 21 年度県民交流広場事業・福祉コミュニティ支援事業 活動事業実施計画書兼活動助成金交付申込書

逆瀬台小学校区まちづくり協議会会長様

申込 平成 21 年 8 月 29 日

団体代表者	(団体名) 逆瀬川グリーン・ハイム自治会	(代表者職氏名) 会長 鈴木 彰	
団体又は代表者の住所	〒665-0024 宝塚市 宝塚市逆瀬台 1-8-D116	TEL&FAX 78-5724	

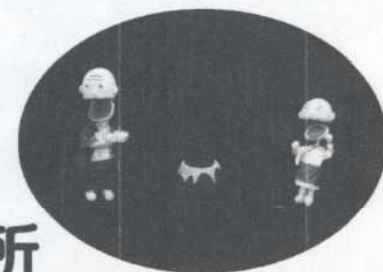
活動の名称	比翼の会 命名: 子供とお年寄りの親睦を (未永く) 深めることを希望命名
活動の目的	自瀬川ブロックの 子供とお年寄りの親睦 (自治会活性化のため) (新規南垢部門)
活動の内容	大型紙芝居と人形劇 ホ一部 演目 4 約 35分~40分 ホ二部 " 3 約 35分
参加予定数	約 90人 出演者 10名を含む
実施予定日	平成 21 年 9 月 23 日
総活動経費	40,000 円
助成希望額	30,000 円

PRの方法	案内チラシ等が有れば添付してください。 別添 プログラムをご参照下さい。
-------	---

- \* 1. この助成金は、飲食費には使用できません。
- \* 2. 活動実施完了後、速やかに別紙報告書を提出してください。なお、活動の写真等添付してください。

# 大型紙芝居と人形劇公演

日時：平成21年9月23日(水祝)  
開場：1時30分  
開演：2時  
場所：グリーンハイツ 管理棟2階 集会所



## 第1部 高須文庫

- ①歌と人形のリズム(3分)  
「5匹のこぶたのチャールストン」
- ②大型紙芝居(10分)  
「きょうは、なんて うんがいいんだろう」
- ③パネルシアター(7分)  
「おりようおりとうさん」
- ④人形劇(15分)  
「きょうは なんの日かな？」



## 第2部 聖和大学人形劇部 わらべ

- ①音楽劇 “パタパタママ”(13分)  
「あー、いそがしい！あー、いそがしい!!」  
おりようり、おせんたく、そうじにかいもの…  
ぼくのママったらね、いつもパタパタ、パタパタしてるんだよ。
- ②セルフ劇 “ぶす”(13分)  
おしょうさんがだいに、だいにかくしていた水あめを、弟子のちんねんとかんねんが、たべちゃった!!  
「どうしよう。きっとおしょうさんにしかられる!!」  
そう考えたふたりは、どんでもない行動に…!
- ③舞台裏をのぞいてみよう(5分)

平成 21 年 8 月 2 日  
逆瀬台小学校区まちづくり協議会  
会長 中村一雄  
書記 日比明男

「平成 21 年度 8 月度役員会」議事録

日時 平成 21 年 8 月 2 日（日）10:00－12:10  
場所 ゆずり葉コミュニテイルーム  
出席者 議決権者： 中村、井篁、中山、田麦、大政、濱名、森田、春日、  
徳高、名古、平田、新田、野田、鈴木、鬼頭、黄地、  
飛松、千秋、計 18 名（欠）坂本  
非議決権者： 国司、宮部、西沢、日比

《報告事項》

- (1) 7/11（土）の「第 2 ブロック地域創造会議」について。（活動局長より説明）  
資料 1/8～8/8、行政からのテーマ、地元からのテーマそれぞれについて。
- (2) 7/16（木）同上⑤の提案について市教育委員会から回答があった。  
行政には現場をよく見て判断することを要請、それと共にもっと利用者側としての意見を出すことが肝要。（会長より説明）
- (3) 7/10（金）西山幼稚園夏祭り（イベント支援隊（組））について。  
光ヶ丘自治会主体で行われた。（黄地役員より報告）
- (4) 協賛金の入金状況について。（事務局長より報告）  
（ゆずり葉台自治会を除き入金確認済み）
- (5) 10 月 1 日発行の「ゆずり葉だより」57 号について。（事務局長より報告）  
9 月 11 日（金）原稿締め切り 9 月 29 日（火）10:00－11:00 各グループ引き取り。
- (6) 「宝塚市健康づくり推進員」の推薦について。（国司活動委員より報告）  
★国司恒雄、大川浩幸、西岡嘉一郎、安平玲子の 4 名を市へ推薦する予定。
- (7) 7/3（金）「野上児童館運営委員会」について。（会長より説明報告）
- (8) 7/22（水）「宝塚市社会福祉協議会」評議員会（資料 3 頁）  
「生活・介護支援サポーター養成事業」、「安心生活創造事業」について。  
国の事業であり 8 月中旬に地域民生委員と話し合いをする予定だがプライバシーの問題もある。（会長より経過説明）
- (9) 隔月刊誌「NPO マネジメント」で当会活動の情報開示を評価してもらっている。  
（資料 7/8 頁）（会長より報告）

《議決事項》

議案（１）宝塚市補助金（第４号）申請について。（別紙資料）  
¥170,000 7月30日入金確認 （詳細内容を会長より説明）

議案（２）活動事業助成金の配賦について。（別紙資料）  
「ゆずり葉文化教室」3万円（県）  
「県民交流広場事業予算」残余金 11万円 9月6日（日）申請締め切り  
（詳細内容を会長より説明）

（１）及び（２）何れも全会一致で承認

議案（３）「ゆずり葉まつり」について（フリーマーケット主体）（会長より説明）  
ゆずりは会と学校が協議して進められそれにコミュニティが協力する形と  
なっている。

従来からの経緯もあり各自治会が分担して協力している。

逆瀬台自治会は（アイスクリーム）を、光ガ丘自治会は（紙芝居）青葉台

自治会は（竹馬、コマ廻し）など昔遊びコーナーを

2丁目自治会は（輪投げ）を担当する。

議案（４）10/3（土）雨天順延4日（日）、逆小運動会「ボール運びリレー」  
（会長より説明）

（３）及び（４）何れも全会一致で承認

《その他事項について》

濱名役員より西山住宅前の歩道設置について問題提起があったが、すでに「地域  
創造会議」などで数回にわたり兵庫県・宝塚市に提案しているが、未だ西山住宅  
内部で意見が纏っておらずコミュニティとして取り上げる迄には至らなかった。

以上